



2023年12月28日

関西金属工業株式会社に対する
「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、関西金属工業株式会社(本社:広島県安芸郡、代表取締役 中川 健二)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2023年12月28日
融資金額	3千万円
融資期間	10年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	メッキ加工に使用するイソプロピルアルコールの含有率の段階的な引き下げ
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(別紙2)を取得しております。

2. 企業概要

会社名	関西金属工業株式会社
所在地	広島県安芸郡熊野町出来庭7丁目17番20号
代表取締役	中川 健二
業種	金属部品製造・加工業
事業内容等	金具製造・表面処理を主体とする金属部品製造・加工を行っており、主に全国トップシェアを誇る「熊野筆」の画筆用および化粧筆用金具を製造しています。金属の選定から切断、加工、メッキと、原材料から筆金具の完成まで一貫して行っています。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082)247-5151 (代表)

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の 2 商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施 ・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年 1 回のレポートイングが必要
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・ 年 1 回のレポートイングが必要

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと ・ 外部レビュー※、年 1 回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 ※原則ひろぎんエリアデザインにより実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと ・ 年 1 回のレポートイングを実施
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	

関西金属工業株式会社 〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2023年12月28日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と関西金属工業株式会社（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

（1）会社概要

借入人は、広島県安芸郡熊野町に本社を置く1960年設立の金属加工業の会社である。真鍮（黄銅）パイプの加工、表面処理をメイン事業としており、筆の産地である熊野町において、主に画筆用金具や化粧筆用金具を製造している。金属の各種加工技術では、真鍮や純アルミパイプが無傷で変形なく切断できることに強みを持ち、金属の原材料から金具の完成までの一貫生産体制を整備している。

熊野筆の製造・販売及びそれに関連する事業を行う組合員で構成された「熊野筆事業協同組合」に加入し、女子サッカー日本代表チーム（なでしこJAPAN）に国民栄誉賞の副賞として贈られた化粧筆には、借入人の製品が使用された。



本社工場



設備（パイプ切断機）



光沢ニッケルメッキ



化粧筆

（借入人HPより抜粋）

(2) サステナビリティ

借入人は、企業理念に「環境にやさしい物づくり」、「地域に根付いた物づくり」、「時代のニーズに合わせた物づくり」を掲げている。特に環境面では、事業活動で発生する「排水」を適切に処理し、周辺地域の環境保全に努めている。具体的には「広島県廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備等補助金」制度を活用し、新型の廃水処理装置を導入している。本機材の導入により、製造工程で発生する汚泥や鉍物が混じった混合物を粉末状にし、産業廃棄物の重量・体積を減少させることを可能にしている。また、太陽光パネルを自社工場に設置することで再生可能エネルギーを活用したり、自社の水利用状況を適切に管理して井戸水を利用するなどして、資源の有効活用を推進している。

これらに加え、2023年12月28日にSDGs宣言を行っており、以下の4つの項目において持続可能な社会の実現に貢献することとしている。

<借入人のSDGs達成に向けた取り組み>

	<p>【金属加工の技術で伝統のその先へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊野筆の画筆用金具や化粧筆用金具の製造・表面処理 ・原材料から筆金具の完成まで一貫生産体制の整備 ・多品種少量生産によるお客様のニーズに合わせた物づくり
	<p>【だれもが働きやすく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率100%の継続 ・育児休暇・介護休暇などの制度休暇の整備 ・就業規則へのハラスメント禁止の明記
	<p>【環境にやさしい物づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造過程で使用する化学物質の適正管理と削減への取組 ・排水の適正処理と削減への取組 ・再生可能エネルギー（太陽光発電）の利用
	<p>【地域に根付いた物づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品である熊野筆の物づくりへの貢献 ・地元人材の積極採用 ・地域の防災活動への積極的参加

2. KPIの選定

(1) KPIの概要

借入人はKPIとして、「メッキ加工に使用するイソプロピルアルコール（以下、IPA）の含有率の段階的な引き下げ」を選定した。

※IPAとは、揮発性有機化合物（以下、VOC）の一種であり、無色透明のアルコール臭のある液体で、高い引火性がある。健康及び環境に対する有害性が報告されている。

※VOCとは、有機溶剤などに含まれる有機化合物の総称で、塗装・洗浄・印刷等の作業に幅広く使用されている。

- <参照> ・厚生労働省「有機溶剤を正しく使いましょう」
 ・環境省「揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制」

(2) KPIの重要性

IPAの含有率を引き下げることが、環境への負荷軽減と従業員の労働安全衛生の保全につながるため、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

(3) 経営方針とKPIの関係

借入人は、前述の企業理念に掲げる「環境にやさしい物づくり」について、前述のSDGs宣言にも掲げられる「製造過程で使用する化学物質の適正管理と削減への取組」として、環境に及ぼす影響が大きい化学物質を削減をするなど環境保全に配慮した活動に日々努めている。

本KPIはこうした取組に通ずるものであり、借入人の経営方針と一致しており整合性があるといえる。

(4) KPIの有意義性

製造工程で使用される「イソプロピルアルコール (IPA)」は、他の物質を溶かす性質を持つ有機化合物（総称として「有機溶剤」）であり、揮発性有機化合物 (VOC) の一種である。

IPAを含む有機化合物は、健康面と環境面に影響を与えている。そのため、有機溶剤の安全基準等を定める規則（厚生労働省令）で規定された全54種類の有機溶剤については、その含有量が5%を超えた場合には、排気装置の設置などの措置が必要となっている。

環境面については、IPAが気体の状態で排出されると大気中における光化学反応を起こし、光化学オキシダント（オゾン等）及び浮遊粒子状性物質を生成すると考えられており、大気汚染防止法においても大気汚染の原因物質として定義されている。

なお、IPAを含むVOC排出抑制に関しては、平成16年5月に大気汚染防止法が改正され、平成18年4月から本格的に排出規制が実施され、排出規制と自主的取組報告を適切に行われた結果、平成22年度には目標量（3割程度削減を上回る、4割以上の削減）を達成している。しかし、それ以降、新たな削減目標は設定されておらず、現状の取組目標を維持している。（令和3年度実績では、41業界団体等で約19,200社が取組を報告、次頁図1-①及び②参照）

以上のことから、借入人のIPAの含有率を引き下げるとした本KPIは、地球環境保全と労働環境保全の観点からも望ましく有意義なものといえる。

<参照>

- ・厚生労働省「有機溶剤を正しく使いましょう」
- ・経済産業省「揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況」
- ・独立行政法人 環境再生保全機構「大気環境の情報館」

図1-① VOC排出規制に参画している自主的取組業界団体

事業者による自主的取組のフォローアップ結果 (1) 参加業界団体等

※図1-①及び②は、経済産業省「揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況」より抜粋

- 各業界団体等が自ら「目指すべき方向性や方策」を設定の上、産業構造審議会産業技術環境分科会 産業環境対策小委員会で毎年度フォローアップを実施中。
- 41業界団体等、約19,200社（昨年度より約500社減少）が取組を報告（令和3年度実績）

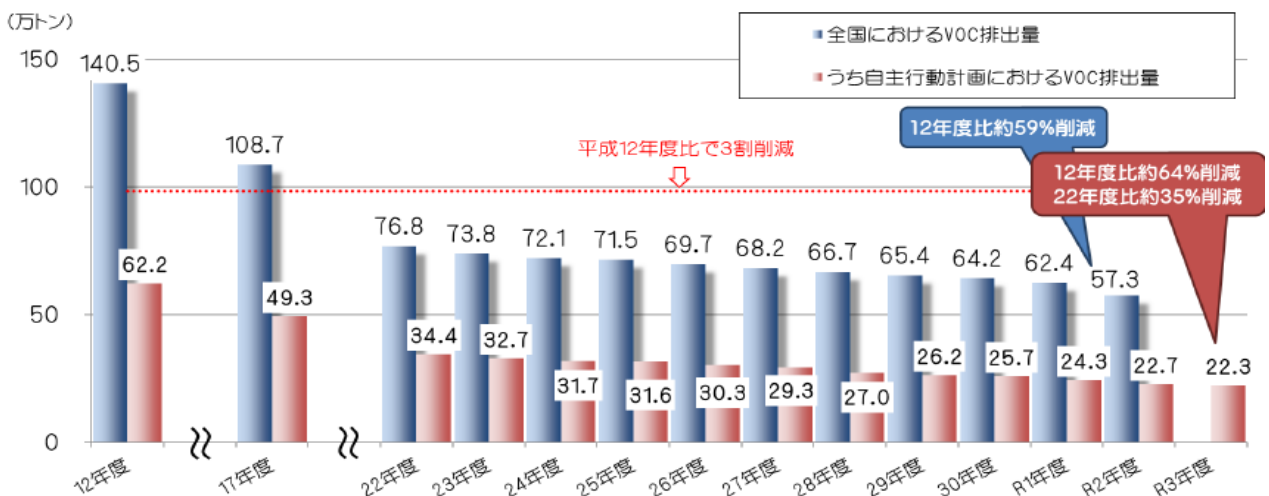
VOC自主的取組の参加業界団体等			
日本ガス協会 (9)	線材製品協会 (8)	ドラム缶工業会 (11)	日本ゴム工業会 (33)
日本染色協会 (22)	日本伸銅協会 (7)	軽金属製品協会 (3)	日本自動車車体整備協同組合連合会 (205)
日本製紙連合会 (45)	全国鍍金工業組合連合会 (110)	日本プラスチック工業連盟 (21)	日本粘着テープ工業会 (13)
日本鉄鋼連盟 (73)	日本電線工業会 (115)	日本オフィス家具協会 (23)	全国楽器協会 (2)
電機・電子4団体 (88) 電子情報技術産業協会 情報通信ネットワーク産業協会 ビジネス機械・情報システム産業協会 日本電機工業会	日本アルミニウム協会 (8)	日本表面処理機材工業会 (23)	日本釣用品工業会 (19)
	日本建材・住宅設備産業協会 (32)	日本自動車車体工業会 (205)	日本金属ハウスメーカー工業組合 (47)
日本塗料工業会 (76)	天然ガス鉱業会 (4)	日本接着剤工業会 (83)	日本金属洋食器工業組合 (35)
日本自動車部品工業会 (73)	石油連盟 (15)	プレハブ建築協会 (7)	日本ガス石油機器工業会 (70)
日本自動車工業会 (16)	日本化学工業協会 (68)	印刷インキ工業連合会 (41)	全国石油商業組合連合会 (13,242)
	日本印刷産業連合会 (4,260)	日本工業塗装協同組合連合会 (78)	

VOC自主的取組支援団体等			
産業環境管理協会 (20)	日本産業洗浄協議会		

図1-② VOC排出量推移

事業者による自主的取組のフォローアップ結果 (2) VOC排出量推移

- 自主的取組参加企業によるVOC排出量は、平成12年度より6割超削減。
- 平成22年度以降もVOC排出量は減少傾向が継続（平成22年度より3割超削減）。



出所：全国におけるVOC排出量は、「揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリについて」（令和4年3月、環境省） 6

3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）の測定

本ローンのSPT設定については、以下の（1）から（3）の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

（1）SPTの概要

借入人は、KPIとなる「IPA（イソプロピルアルコール）の含有率」について、2023年度から2032年度にかけて下表のとおりSPTとして設定した。

2023年度から毎年度0.25%ずつ削減していき、最終的に含有率を2.5%（現在比50%減）まで引き下げることとする。

【借入人のSPT】

	2023年度 (6月期)	2024年度 (6月期)	2025年度 (6月期)	2026年度 (6月期)	2027年度 (6月期)
IPA含有率	4.75%	4.50%	4.25%	4.00%	3.75%
	2028年度 (6月期)	2029年度 (6月期)	2030年度 (6月期)	2031年度 (6月期)	2032年度 (6月期)
IPA含有率	3.50%	3.25%	3.00%	2.75%	2.50%

（2）SPTの野心性

IPAは、高い殺菌作用・即効作用があることに加えて、他のアルコール（エタノール等）と比べて安価であることから、様々な産業の清掃・洗浄過程で使用されるケースが多い。

しかしながら、IPAについては、適切に取り扱わなければ前述のとおり環境面及び健康面への影響がある。そのため、最近では、環境負荷が少ない洗浄溶剤や電解水への代替、溶剤再生装置の導入など、IPA削減に向けた取組が進んでいる。

一方で、IPAに替わる新たな有機溶剤を導入する場合、品質維持のための研究開発やそれに伴うコスト負担が生じる。また、IPAの希釈倍率を引き上げて使用する場合、製造工程の作業効率悪化が懸念され、慎重に対応を進める必要がある。

こうしたことから、借入人においては、当面、IPAを継続して使用するが、将来的にはIPAの含有率が極力少ない有機溶剤の導入を視野に検討する方針である。

IPAを単純に希釈すれば達成できる目標ではなく、借入人が研究開発を重ね、新たな溶剤を導入して初めて実現可能となる。以上を踏まえ、借入人が品質を維持しながら、10年後に現在比50%の削減を実現することは、十分に野心的な目標であると判断する。

（3）SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

4. ローンの特徴

評価対象の「ローン特徴」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。

(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

5. レポートイング

評価対象の「レポートイング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の設定」、「4. ローンの特徴」、「5. レポートイング」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。